

麻生田小だより

NO. 8 令和元年10月1日 文責 校長 木下浩文

【学校教育目標】

人間尊重の精神を基盤にし、「礼・学・体」の調和のとれた子どもを育成する

【校訓】美しく(礼) かしこく(学) 強く(体)

元年度後半スタート

10月となり令和元年度も後半がスタートしました。この半年、大きな事件や事故もなく過ごせたことに感謝いたします。現在学校では、「わかる授業」を通じた学力向上に取り組んでいます。そのために研究授業や研究発表会への参加を進めています。また、「いじめのない学級」「仲間と楽しい活動」を目指して、校外学習や見学旅行、集団宿泊教室、修学旅行、学習発表会への取組を行っています。このような取組を通して、2学期のスローガン「一つ上」の麻生田小を目指します。後半も保護者・地域の皆様のご支援とご協力をお願いします。

本物につながる

学年見学旅行



9月26日に4年生が社会科学習として山都町に見学旅行に行きました。目的は田形分水、通潤橋及び資料館で、地域の開発に尽くした先人の業績や当時の人々の暮らしの様子や願い、工夫や努力を学ぶことが目的です。通潤橋について調べることはネットでもできます。画像や動画で見ることができません。しかし、間近での大きさを体感することはやはり現地に行かないとできません。また、資料館館長さんの小学生にわかりやすい説明も現地ならではです。2学期は他の学年も見学旅行を通して、本物につながる学習を行います。

研究授業で

授業力アップ



麻生田小に限らず、熊本市の小学校の課題の一つが学力向上です。そのために、麻生田小では研究授業で先生たちの授業力向上に取り組んでいます。研究授業は校内職員で参観し合う中研、他校から助言者を招く大研、教育委員会に授業計画から指導していただくステップアップ研修などいくつかの種類があり、全ての先生がいずれかの方法で行っています。タブレットも積極的に活用しています。また、本年度は教育委員会が全ての先生の授業を参観される学校訪問が10月に行われます。その他、校外研修にも多くの先生が参加しています。研究授業を通して「わかる授業」の実現に取り組んでいきます。

業務改善モデル校

子ども向き回廊

時間のために



本年度、麻生田小は市教委主催の学校業務改善モデル校となりました。学校の業務をソフト、ハードの両面から改善し、先生たちが働きやすい環境を整え結果として子どもと向き合う時間を生み出そうという取り組みです。民間会社の専門家による指導を受け、具体的改善策を全職員で出し合い、働きやすい職員室のレイアウト、ICTを活用した業務の簡素化、行事の見直しなど、できることから改善を図っています。

親子愛校作業で

学校をきれいに



9月7日に親子愛校作業が行われ、約6割の児童と多数の保護者の皆様の参加がありました。夏休み中に伸び放題になっていた草がみるみる取り除かれ、草に覆われていた花壇も運動場のフェンスもすっきりきれいになりました。また、低学年、高学年の各昇降口前の溝もきれいに土がさらわれました。学校は「あそくだ運動」の一つとして掃除に頑張っています。敷地が広くどうしても児童と職員だけは手が届きません。子どもたちの頑張り、保護者の皆様のご協力に感謝します。何より自分たちの学校、地域の学校として皆さんが学校を大切に思っていたことがありがたいです。

10月の学校行事

- 2日(水) 5年水俣見学旅行、1年見学旅行
2年学年PTA行事、6年修学旅行前検診
- 3日(木) 4年あいこう交流会
- 4日(金) 芸術鑑賞会
- 8~9日 6年修学旅行
- 11日(金) PTA会費後期納入
- 16日(水) 給食費集金、給食試食会
2年見学旅行、1年学年活動
- 17日(木) 3年見学旅行、給食費集金
- 19日(土) 土曜授業、引き渡し訓練
地域防災訓練
- 26日(土) ふれあい福祉まつり in あそくだ
- 29日(火) 4年あいこう交流会
- 30日(水) 就学時健康診断

